



谷 穎一 議員

住民と行政協働の まちづくりについて

急水栓3箇所を県に要望中。防災総合訓練については実施方法等を研究し、防災体制充実に努める。

現行の防災総合訓練を住民参加型の実訓練とし、災害時に、有効に対処できるものとしては、避難所は備蓄品及び連絡体制を検討中。水は現在2箇所の配水場で確保。相互供給弁は香芝市と協議中。また、県水移行により応

今後は、地域住民が独自の街づくりの目標を掲げ、自らが自立した地域の街づくりを目指す地域自治に転換すべきと訴えてきました。具体的には、各地域の取組や方向性を住民みんなで語る『場』を創らなければなりません。新町も同意見だと思いますが、具体的な方針を聞きたく。

山村町長 まちづくり懇談会を常設し、定期的に開催予定。地域担当者の職員を配備予定。他から評価される広陵町のまちづくりの仕組みをつくりたいので議会の応援を願う。

町の防災力の 更なる向上について

東日本大震災時、被災地3県の現状確認、日本防災士協会での活動経験から、地域公園を防災公園として整備しては。水道確保のための近隣自治体相互供給弁、緊



吉村眞弓美 議員

アライグマの被害と その対策について

1 前町長の政治姿勢を踏襲されるのか。

2 残された課題の方針と取り組み

- ① 平野クレーン事業地解体問題
- ② 水道局跡地処分問題
- ③ 未改修予定水道管150km問題
- ④ 自転車兼用歩道改修状況

3 生活インフラ等の整備は歴史資料館建設より優先されるべき。

山村町長 長年共に仕事をしてきたが、私は私として取り組む。① 県と連携を密にして対処。② 委員会の方針決定後協議。③ 管路更新計画にて整備。④ 自転車は路肩通行とし、歩道の幅確保の剪定。

行政施策として優先順位をつけ選択。

急貯水槽の設置の経過は。また、現行の防災総合訓練を住民参加型の実訓練とし、災害時に、有効に對処できるものとしては、避難所は備蓄品及び連絡体制を検討中。水は現在2箇所の配水場で確保。相互供給弁は香芝市と協議中。また、県水移行により応



福祉医療制度における
医療費助成通知書送付について

福社医療には、乳幼児・子ども・心身障がい者・ひとり親家庭等・重度心身障がい老人等の各医療費公費負担制度があり、助成金は2~3か月後に自動償還されます。この場合、内容を記載したお知らせがなければ、通帳に記載される合計金額のみで、どの病院でいくら助成してもらったのか、全くわかりません。一目で内容が把握できる見やすい医療費助成のお知らせを送付していた

山村町長 現在稼働している福祉医療の電算システムは、7市町（香芝・葛城・河合・上牧・川西・田原本・広陵）による共同電算を利用しています。改修についてはすべての参加市町の同意が必要であり、多額の諸経費も必要になります。これからのこと

により勝手に捕獲することはできません。捕獲できるようにするにはアライグマ防除実施計画の策定が必要となります。今後、広陵町の全域において計画的かつ効率的な防除の実施に努めてまいります。「アライグマ防除実施計画」は、今年度中に上

げるということで取り組んでまいります。

